

(仮訳)

カザクバエフ外相発玄葉大臣宛メッセージ

日本国外務大臣 玄葉光一郎 閣下

閣下

外交関係樹立20周年というキルギス共和国及び日本国にとっての歴史的な出来事に際して心より祝福申し上げます。

この間、両国間関係は、友好、相互理解及び協力の精神において発展してきました。グローバルな及び地域的な幅広い問題における協力という建設的な経験が蓄積されました。中央アジア地域の安定と繁栄の確保のための地域の共通課題の解決及び域内協力の促進に向けた「中央アジア+日本」対話の枠組みにおけるダイナミックな協力関係の構築がその証左です。

今日、実りの多い外交対話は、両国間協力の議題に挙げられている焦眉の問題に係る国家間関係の強化を促進するものです。

両国間協力の肯定的な経験の蓄積に基づき、我々は、キルギス・日本関係を両国の繁栄のための互恵的なパートナーシップという質的に新たな段階に引き上げることができるという確信を表明します。

閣下の御健康、御家族の御多幸及び一層の国家の御成功を祈念します。

敬具

2012年1月26日

キルギス共和国外務大臣
ルスラン・カザクバエフ